

## 第14回八女市こども議会

順番	議員名	質問	答弁
1	イリベ ソウ 入部 爽 (岡山)	<b>岡山公園を活用した地域活性化について</b> 岡山公園は、春になると桜が咲き、多くの人が桜を見に来ます。そこで現在、岡山小学校で開催している「ふれあい秋祭り」を桜がきれいに咲いている岡山公園で行えたらよいなと思っています。その中で、八女市の広報やSNS等で活動を発信してもらうことで岡山地区の活性化が図れるのではないかと考えています。	毎年、岡山小学校で開催されている「ふれあい秋祭り」は、地域住民の皆さんをはじめ、多くのお客さんが来場されていますが、岡山公園で開催することにより、その場所の特性を活かした新しいイベントや催しを企画できるのではないかと思います。現在、八女市では広報紙やホームページ、SNSを活用した情報発信をおこなっています。特にSNSはリアルタイムでの情報の発信及び拡散が期待できるため、今後も積極的に活用したいと考えています。また、「ふれあい秋祭り」の時期に、市にも情報発信をいただくと、市の情報発信手段を活用してPRしたいと考えています。地域のイベントの活性化が図れるよう、市も協力していきたいと思っています。
2	ヤナギダ サキ 柳田 紗希 (黒木西)	<b>音響式信号機の設置について</b> 私は国語科で黒木町の未来について考える学習をした時、「高齢者や障害のある方が住みやすい町づくり」を考えました。そこで、目の不自由な方や信号の色がぼやけて見える方のために、音響式信号機を設置してはどうだろうと思いました。音響式信号機は黒木町には1か所しかないので増やしていただけないでしょうか。	音響式信号機は、視覚障害者に信号の状況を知らせるための装置で、全国で約2万1千基が設置されています。八女市では14か所、そのうち黒木町にも1か所設置されており、設置については八女警察署に依頼する必要があります。音響式信号機は視覚障害者にとって重要な手がかりであり、交通事故防止のために重要な手段です。警察では他にもスマートフォンのアプリなどの新しい取り組みも始めており、障がいを持つ人々の生活の不便さを軽減・解消することが大切であり、市民と連携して「安全・安心で住み続けられるまちづくり」に取り組んでいきます。
3	ハラ シュンスケ 原 駿介 (立花)	<b>空き家について</b> インターネットの情報によると、八女市の空き家の数は2003年が940軒、2018年になると3960軒まで増えています。少子高齢化の影響もあり、今はもっと増えていると思います。ぼくは、空き家が増えることによって起こる倒壊の危険や不法投棄・侵入が心配です。 八女市でも空き家バンクの取り組みをされていると思いますが、空き家バンクの存在を知っている人は、あまり多くないと思います。八女市として、どのようにして空き家を減らそうと考えているのか教えてください。	空き家が長期間放置されると、壊れたりゴミが捨てられたりする危険があります。八女市は空き家バンク事業を10年以上続けており、100軒以上の空き家の解消に成功しました。さらに、空き家バンクを利用して他の地域から引っ越してくる人もいほど成果が出ています。八女市は広報やホームページなどで空き家バンクを広く知らせる取り組みを行っています。また、雑草や壊れかけた壁などの問題がある場合には、所有者に適切な対応を求めています。八女市は引き続き、多くの人に空き家バンクを利用してもらい、市民が安心して暮らせる環境作りを進めてまいります。
4	オガタ コハル 緒方 心陽 (黒木)	<b>小・中学校の前期と後期の間の休日について、現在3日しかないが、長くしてはどうか</b> 3学期制の時は、学期と学期の間に夏休みや冬休みがあり、十分にリフレッシュして新学期を新たな気持ちで迎えることができていました。しかし、2学期制となってからは、学期と学期の間が3日しかないため、気分転換ができず、新学期を意欲をもってスタートすることが難しくなりました。そこで、秋休みを3日設け、合計6日間の休日をつくってはどうでしょうか。	八女市立学校では、二学期制を導入しています。これは、児童の皆さんの授業時間を十分に確保できることや、先生と児童の皆さんとの時間を増やすことにもつながっていると考えています。 八女市も二学期制を始めて10年が経過しているため、さまざまな角度から調査し、改善すべき点は変えていく必要があると考えています。教育委員会としても、皆さんがより充実した学校生活を送れるよう、最善を尽くしていきたいと思っています。
5	アサカワ リコ 浅川 莉子 (八幡)	<b>商業施設について</b> 私が住んでいる八幡校区は、スーパーマーケットやコンビニエンスストアがありません。お店が少ないので人との交流の場もなく、なかなかコミュニケーションがとれません。また、高齢者も多く住んでるので、歩いていける距離にお店がないのは大変不便だと思いました。そういった商業施設をつくることは可能でしょうか。	お店を出店するためには、たくさんの人が集まり、店が儲かるようにするため、大きな建物、広い駐車場、それが入る広い土地などを準備していただく必要があるため、たくさんのお金が必要となります。 市では直接お店を作ることはできませんが、補助金を出して出店者を支援したり、市民に商品券を発行して市内のお店での買い物を奨励することで、地域の商業活動をサポートしています。皆さんが快適に住み続けるために、今後もこのような支援を続けていきたいと考えています。
6	ハマダ テヒロ 濱田 千尋 (長峰)	<b>生き物を大切にするための取り組み</b> 最近、家の近くで飼い主が分からず外で暮らしている猫が増えています。飼い主が見つかるまで猫や犬が安心して暮らすことができるような保護施設があるといいなと思うのですが、八女市ではどのように取り組んであるか教えてください。	現在、市内の保護活動に関しては、ボランティアの方々「一時保護」や「里親探し」の活動を行ってくださっています。少し難しい話になりますが、社会問題となっている「致死処分」をなくしていくためには、保護した犬や猫の里親を探してあげないといけません。 生き物を大切にして、人間と共に生きていくための取り組みを進めることは、とても大切なことです。八女市では、みなさんの声に耳を傾けながら、必要な情報を発信し、今後の取り組みを考えていかなければならないと思っています。また気づいたことがあったら気軽に市役所まで伝えていただけたら嬉しく思います。

## 第14回八女市こども議会

順番	議員名	質問	答 弁
7	シマ コウキ 島 光希 (川崎)	<b>八女市の住みやすさについて</b> 私が住んでいる川崎校区では、住み続けたくても様々な理由で転居しなくてはならない人もいます。その理由には、「日常の買い物が不便」「通勤圏内で働く場所がない」などが見られます。そこで、八女市での住みやすいまちづくりで取り組んでいることはありますか。	八女市は、新規事業を行う方々への経費補助や市内での仕事探しの支援を行っています。また、働く場所を確保するために工業団地を作り、市外の会社を誘致しています。さらに、住民のために家の購入支援や子育て支援、教育支援、安心で安全なまちづくりにも取り組んでいます。これからも住民が八女市で幸せに暮らせるよう取り組みを行います。
8	オガタ ソウマ 緒方 蒼真 (忠見)	<b>地域の人との交流について</b> 私が住んでいる地域では、地域の方や高齢者の方などとの交流が少ないと感じます。地域の方と交流ができるような行事などはないでしょうか。	昨年から新型コロナウイルス感染症の対策はだんだんと緩められてきており、忠見校区では、青少年健全育成会の皆さんが「ふれあいなわとび大会」を4年ぶりに実施されたとお聞きしました。また、グラウンドゴルフ大会を再開された町内会もあるようです。 地域行事以外でも八女市では地域学校協働活動という事業を通して、学校と地域の交流を進めており、学校の様々な場面で地域の方たちに協力していただいています。忠見地区は「キクの栽培指導」や「本の読み聞かせ」、「習字」や「ミシン」の指導、「通学時の見守り活動」や「職業体験」など、各学校で幅広く地域の方たちに協力していただいています。また皆さんと交流することは、地域の方たちにとっての「生きがい」や「やりがい」にもなります。 地域の方と交流できる機会はとても大切ですので、ぜひ積極的に参加したり話しかけたりしてほしいと思います。
9	マツノブ 松延 しあん (福島)	<b>公共施設について</b> 八女市には、歩道や点字ブロックがこわれているところが多くあります。また、鳥居のひび割れや公園のトイレに落書きされているようなところもあります。このようなところを直し、きれいにすることはできないでしょうか。	歩行者の通行に支障をきたしている箇所などは、早急に補修工事を検討し、歩道を歩く皆さんの安全確保に努めていきます。 もし、建物のひび割れなどを見つけた時、また、トイレを使用された時、落書きなど見つけた場合は、すぐに市役所までご連絡下さい。 皆さんに気持ちよく利用していただくために、清掃や適切な維持管理を、しっかり行っていきます。
10	ヤマグチ エイシロウ 山口 英志郎 (上陽北浜)	<b>上陽町の祭りについて</b> 上陽町には、上陽祭りとはたる祭り、ぎおん祭という祭りがあります。しかし、コロナの影響で規模が小さくなったり、中止になったりしてしまいました。上陽町がもっと活気あふれる町になるために、祭りを行うことは大切なことだと思います。これから、地域でのイベントや祭りをさらに増やしていくという予定はありますか。地域の人とつながることができる機会を増やしてほしいと思います。	上陽町では、新型コロナウイルス感染症の影響で祭りが中止になることもありましたが、昨年コロナ禍が落ち着いてきたので、対策を取りながら祭りを開催することができるようになりました。 今年は「はたると石橋の館」の改修工事が行われ、リニューアルオープン予定です。新しい施設ではカフェやVR体験コーナー、ダンスの練習スタジオなどが楽しめます。また、はたると石橋の里公園と連携したイベントも開催予定です。今後も地域のイベントや祭りの盛り上げりを皆さんの意見や要望に基づいて取り組んでいきます。
11	ナカニシ コハル 中西 心晴琉 (星野)	<b>山本達雄さんの像の設置について</b> 星野村にある「平和の灯」は全国的に有名で誇りに思う。しかし、持ち帰った山本達雄さんについては、八女市民の方にも十分に知られていない。だから、山本達雄さんの像を市内の目立つところに置き、八女市民や八女を訪れた人に興味を持ってもらうようにできないか。	山本達雄さんは「原爆の火」を、多くの人の命を奪った「怨念の証」また原爆犠牲者の「供養の火」として長年灯し続けられました。この火は現在、八女市の平和の塔にある「平和の火」として灯り続けられています。八女市では毎年、8月6日の広島に原爆が投下された日に「平和祈念式典」を開催しています。また、この火は他の場所でも採火や分火されており、国連軍縮特別総会でも平和のシンボルとして灯されました。山本達雄さんの功績は広く広める必要があり、山本達雄さんの像を設置する提案についても平和事業を進めていく中で参考にさせていただきます。また、山本達雄さんの功績は八女市立学校の平和学習やホームページ、平和祈念式典などを通じて広く周知していきたいと考えています。
12	イケダ ヒマリ 池田 姫莉 (三河)	<b>学校の整備について</b> 私の学校は、設備が古いので改築してほしいです。体育館の電灯がLEDになり、明るくなりました。他には、トイレ・校舎の外装が気になります。また、体育館のバスケットゴールが電動になると便利だと思います。学校の設備を新しくする計画はありますか。	三河小学校の校舎と屋外トイレは、修理工事や建設から15年ほど経過しており、外装の状態が気になり始めるころかと思っています。他の学校でも同様の問題があり、修理工事の順番を考慮して計画的に進めていく必要があります。バスケットボールのゴールボードの出し入れを電動式にするのは良いアイデアですが、費用の問題もあるため、今のまま手動式での利用をお願いします。今後も、教室の照明やエアコンなどの学校生活に大きな影響が出る設備について計画的に新しくしていきたいと考えています。

## 第14回八女市こども議会

順番	議員名	質問	答 弁
13	ニタバル 仁田原 すみ れ（上妻）	<p><b>伝統工芸品の後継者不足について</b></p> <p>伝統工芸品の後継者不足は全国で問題になっています。八女市には、たくさんの伝統工芸品があります。現代のニーズに合わせたり、ライフスタイルに溶け込むような伝統工芸品を開発し、それに興味をもってもらえるようにPRしたり、イベントを開いたりすることで八女市はもっと人と人がつながる町になると考えました。八女市では、伝統工芸品に興味をもってもらえるようなPRはどのようなことをしていますか。</p>	<p>八女市にはたくさんの伝統工芸品があり、まさしく伝統工芸品の一大産地です。</p> <p>「後継者不足」という課題については「伝統工芸等継承者育成奨励金」という制度をつくり、職人を目指す人や指導者を応援し、伝統工芸の技術が途絶えないよう後継者の育成と確保に取り組んでいます。併せて「八女伝統工芸館」や「八女手すき和紙資料館」を中心に伝統工芸品の魅力や職人の匠の技を身近に感じてもらうために展示や販売、実演を行っています。さらに、市内の小中学生を対象に国指定の伝統工芸である「八女福島仏壇」や「八女提灯」の教育事業を行い、その技術を次の世代の子どもたちに伝え、知っていただくことを目的に、お話や実演の体験活動を行っています。今後もたくさんの人たちに八女市の伝統工芸を知ってもらう機会をつくり、後継者の発掘や育成に取り組んでいきたいと考えています。</p>
14	タニガワ トウキ 谷川 島基 (筑南)	<p><b>公共施設や商業施設への移動サービスについて</b></p> <p>私が住んでいる地域は、お店や病院などがあまり近くにありません。高齢の方も多く自力で車を運転することが難しい方もいます。八女市では、移動販売車のサービスや病院までのサービスはされていますか。</p>	<p>八女市では、ふる里タクシー、一般タクシー及び路線バス、それぞれの特徴を組み合わせた公共交通ネットワークの整備や、医療、介護を必要とされる高齢者などが、住み慣れた地域で生活ができるよう、介護・福祉の面でも様々なサービスを行っています。</p> <p>また、障がいや介護を必要とする方には、福祉有償運送という移送サービスを提供しています。買い物支援についても、移動スーパーや宅配サービスを利用しています。これからも市民の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活できるように取り組んでいきます。</p>
15	エダ ハヤシ 江田 隼汰 (矢部清流)	<p><b>八女市の森林を守る取り組みについて</b></p> <p>八女市では、福岡県でも森が豊かな地域です。しかし、その森を守るためにはたくさんの人によるお世話も大切です。矢部村でも森林組合の方を中心に熱心に木や森を守ってもらっています。しかし、そこで働く方々もだんだんと年を取り、作業も大変になってきています。そこで、八女市の森林を守り、維持していくための取り組みを教えてください。</p>	<p>八女市では、森林の重要性を理解し、森林を保護・再生する取り組みを行っています。荒廃した森林の手入れや新しい苗木の植樹により、未来の森林を育てることに力を注いでいます。また、林業に携わる人々を支援し、安全で効率的な仕事ができるように研修費用や林業機械の支援も行っています。八女市は森林組合などと協力して、豊かな森を守り続けるために努力し続けます。</p>